

第40回 市政e-モニターアンケート 「鎌倉歴史文化交流館について」 最終結果

【テーマ】 鎌倉歴史文化交流館について

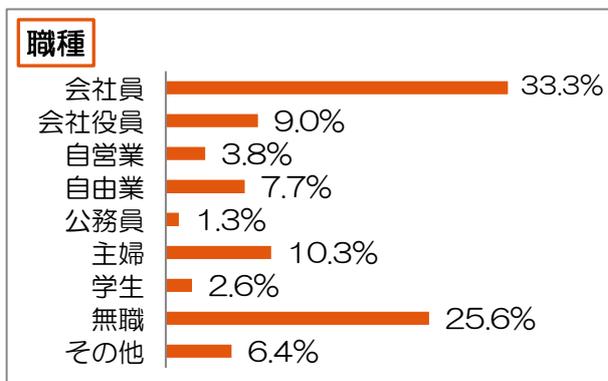
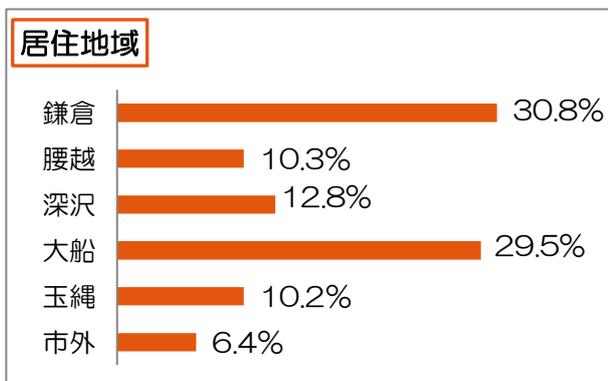
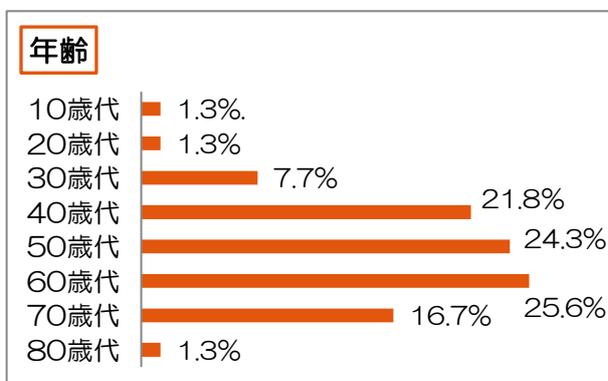
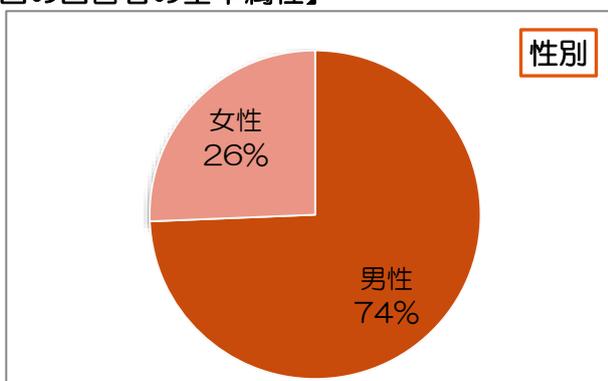
【目的】 鎌倉歴史文化交流館は、子どもから大人までが、鎌倉の歴史的遺産・文化的遺産を学び、体験し、交流できる場として、平成29年5月15日、扇ガ谷一丁目の閑静な住宅街の中に新たにオープンした博物館施設です。

著名な建築家ノーマン・フォスター氏が代表を務めるフォスター+パートナーズの設計による既存建築を活用しながら、主に鎌倉で発掘された出土品などの展示によって、鎌倉の歴史・文化を通史的に紹介しています。

今後の館の運営の参考とさせていただくため、施設の現状や今後の活動などについてお伺いします。

- ◆ アンケート送信日 : 平成30年2月7日（水曜日）
- ◆ 実施期間 : 平成30年2月7日（水曜日）～2月20日（火曜日）
- ◆ 送信者数 : 445 名（着信者数 415名）
- ◆ 回答者数 : 78 名
- ◆ 回答率(対着信者数) : 18.8%（前回より -7.6ポイント）

【今回の回答者の基本属性】

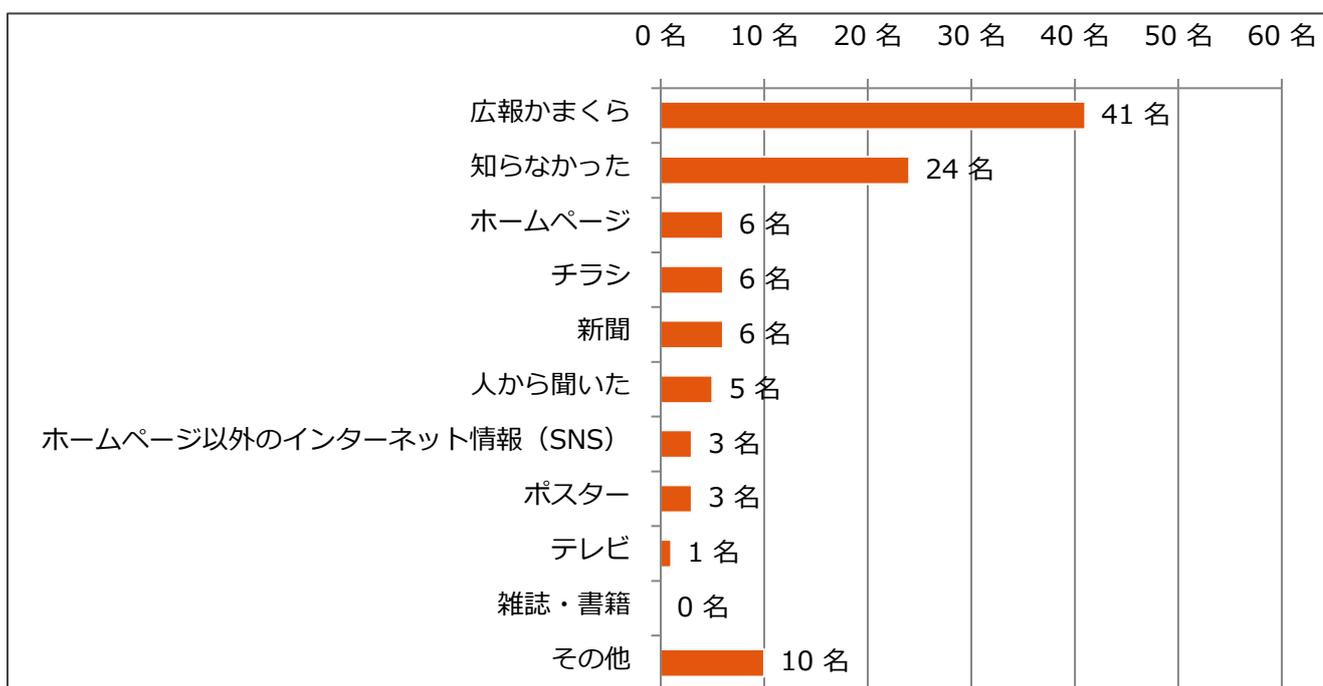


【質問1】(必須) 当館のことを知ったきっかけは何ですか？(複数選択可)

1. 広報かまくら	41名
2. ホームページ	6名
3. 2以外のインターネット情報(SNS)	3名
4. ポスター	3名
5. チラシ	6名
6. 新聞	6名
7. 雑誌・書籍	0名
8. テレビ	1名
9. 人から聞いた	4名
10. 知らなかった	24名
11. その他	10名

「その他」の内訳

- ・目の前を通った
- ・偶然前を通り開館を知った
- ・ウォーキング中に偶然見つけた
- ・散歩の途中で改築前の建物を発見。
- ・近くの檜松に行った際に、工事中の現場を見て
- ・人づて。当地にてイベント企画を打診された。
- ・鎌倉ガイド協会主催のハイキング参加時コースに含まれており訪ねた。
- ・佐助自治会からの案内で、当館の説明会や見学会に参加した。
- ・e-モニターの皆様と市長の懇談会の案内・報告にて
- ・鎌倉市役所4Fロビー



【質問1-1】 当館のことをポスターでお知りになった方にお尋ねします。ポスターの場所を教えてください。

- 鎌倉市役所。
- 由比ガ浜、寸松堂に掲示。
- 鎌倉宮の掲示板ー永福寺跡。

【質問1-2】 当館のことをチラシでお知りになった方にお尋ねします。チラシはどこで入手されましたか？

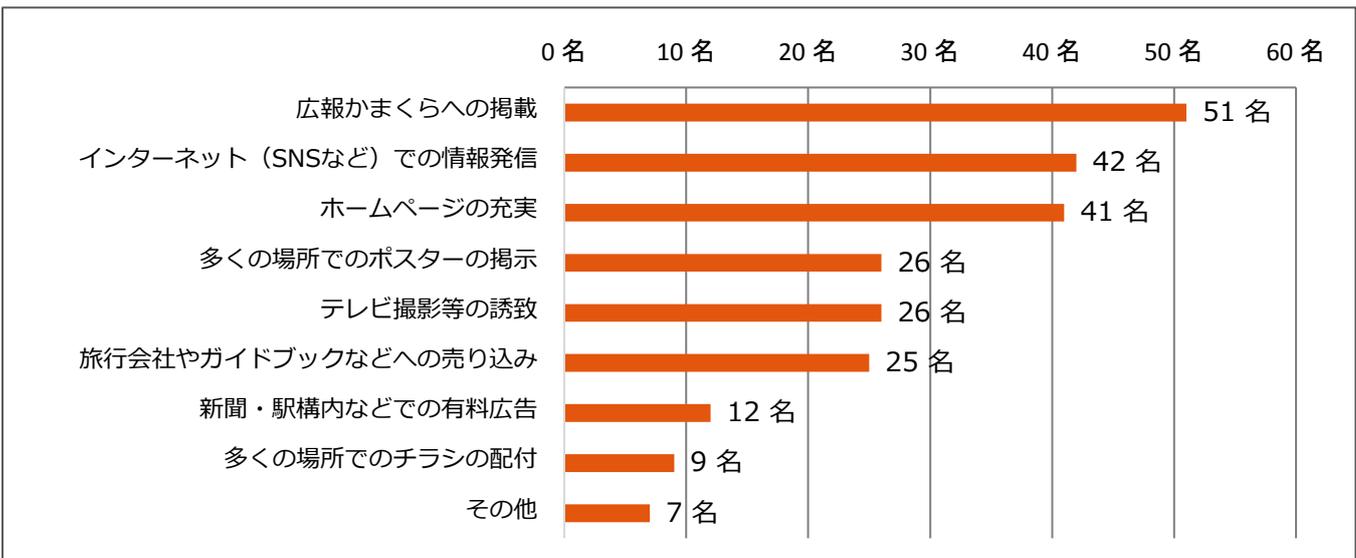
- 腰越図書館。
- 市役所。
- 鎌倉駅前のみどりの窓口の横の観光案内所。
- 行政センター。

【鎌倉歴史文化交流館より】

当館のことを知ったきっかけとしては、広報かまくらの割合が半数以上を占めました。広報かまくら平成29年6月1日号で大きく掲載されたことが要因と考えられます。その一方で、「知らなかった」と答えた人が30%に及ぶことから、より多くの方々に知っていただけるよう、広報活動を拡充していくことが課題として挙げられます。

【質問2】（必須）館の周知にあたり、どのような広報活動が有効だと思いますか？（複数選択可）

1. 広報かまくらへの掲載	51名
2. ホームページの充実	40名
3. インターネット（SNSなど）での情報発信	41名
4. 多くの場所でのポスターの掲示	25名
5. 多くの場所でのチラシの配付	9名
6. 新聞・駅構内などでの有料広告	12名
7. 旅行会社やガイドブックなどへの売り込み	25名
8. テレビ撮影等の誘致	26名
9. その他	7名



「その他」のご意見

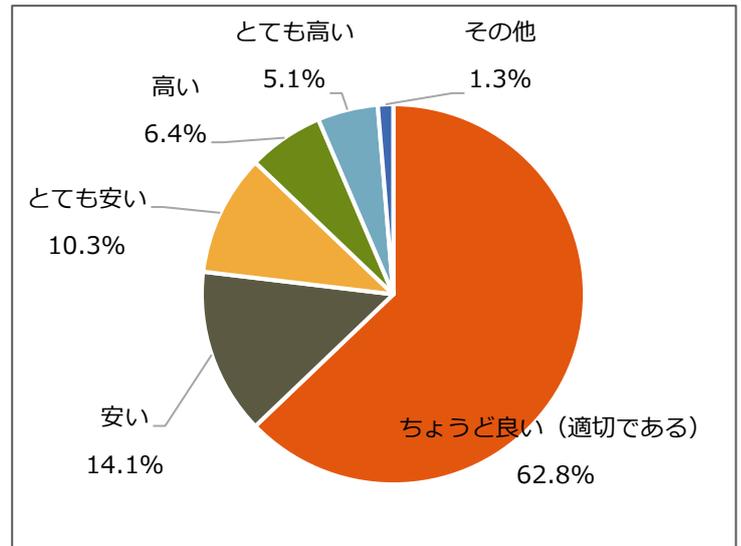
- 企画展の開催とその広報活動の継続。
- 鎌倉洋館・近代建築の「御朱印」集めなどを企画する。
- 鎌倉の歴史に興味のありそうな大学の学部や教授への招待券の配布。歴史関係の団体への招待チケットの配布。口コミが一番有効だと思うから。
- 自治会経由で回覧をまわす。
- 広報かまくらに別刷りで、チラシを入れる。
- 地元の人知らないなので、定期的なイベントなどで、ネットや広告など幅広い方々が目につくようにしていただきたい。
- 入館無料券を市民に配給してはどうか。
- 広報活動は必要ないと思います。

【鎌倉歴史文化交流館より】

有効な広報活動については、質問1と同じく広報かまくらへの掲載がトップとなりました。一方で、質問1では低かったホームページやインターネット（SNSなど）の比率が大幅に増加しており、電子媒体による情報発信の充実を図っていくことが求められています。

【質問3】(必須) 現在の入館料：一般300円、小・中学生100円（団体割引有り、鎌倉市内の小・中学生及び65歳以上の方は無料）についてどう思いますか？

1. とても安い	5名
2. 安い	8名
3. ちょうど良い（適切である）	48名
4. 高い	4名
5. とても高い	1名
その他	11名
合計	77名



「その他」のご意見

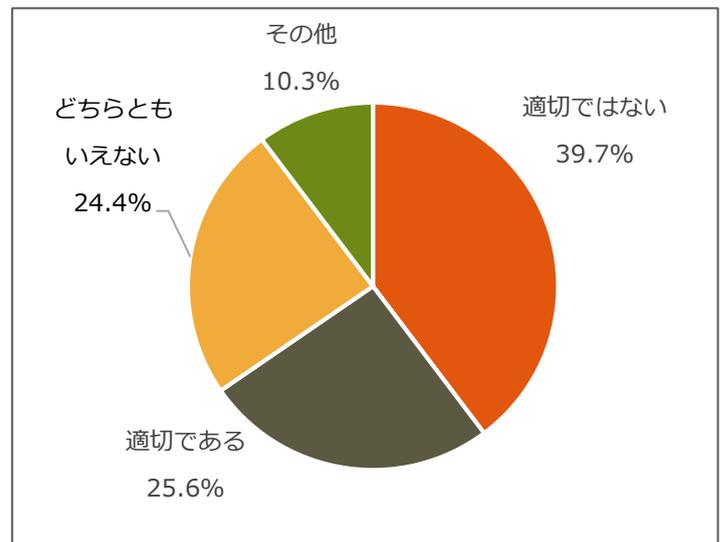
- 市民は全員無料にしたほうがよい。
- 市民は無料でもいいのでは？そうしたら、何度も市外の人を案内してお連れするのですから。
- 施設内容に依存すると思います。後日、拝見したいと思います。
- 行ったことがないので「わからない」です。
- 常設展示物の質を考えると無料であるべき。
- 特別展のみ料金を取るべき。
- 300円の価値がない。何が売りなの？

【鎌倉歴史文化交流館より】

入館料については、市内における同様の博物館施設である鎌倉国宝館の平常展料金と同じ額ですが、「ちょうど良い」と回答した人が「その他」と回答した人を除くと約73%となり、おおむね適切な料金設定であると思われます。

【質問4】(必須) 当館は個人住宅を改修した施設で、現在も閑静な住宅街に立地するため、近隣への配慮から日曜・祝日を閉館としています。この点についてはどう思いますか？

1. 適切である	19名
2. 適切ではない	31名
3. どちらともいえない	19名
4. その他	8名
合計	77名



【鎌倉歴史文化交流館より】

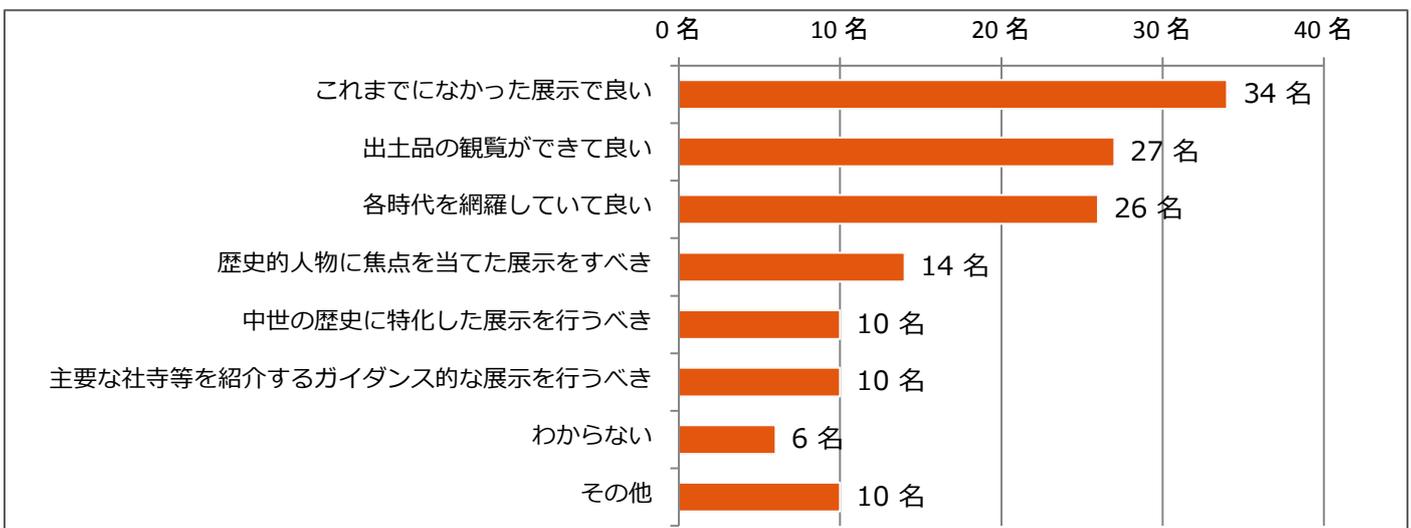
日曜・祝日の閉館については、「適切ではない」と答えた人が40%と最も高いのに対し、「適切である」「どちらともいえない」はそれぞれ25%になりました。今後も近隣の皆様のご理解・ご協力を得ながら館の運営に努め、開館日に関する議論を重ねていきたいと思ひます。

「その他」のご意見

- 日曜休日こそ開館すべき。
- 外部からの来訪者は日曜・祝日が多く、また周辺には諸施設あり同館だけ休日とする必要は無いと思う。
- 年に何回か日曜祝日開館月を設定し SNS で情報を広げる。
- 会社勤めの人が行きづらく、親が行けないのであれば子どもも行く機会を持たない。老人向けならば良いが、訪問してほしい人が訪問できる時間を考えるべき。
- 夏休み期間は特別日を設け、市内公教育（児童・生徒）の自由研究・宿題の材料（テーマ）に開館してください。
- 近隣の人達に、鎌倉は観光都市であることを理解してもらって、日曜・終日も含め 17:00 まで開館する方が良い。
- 時が経って近隣の信頼が得られたら、第 2・4 日曜は開館して現役世代が来館できるようにしたい。
- 行った事がないのでわかりません。

【質問5】(必須) 当館は、いままで鎌倉になかった歴史博物館をつくることをコンセプトに、常設の展示として、原始古代から近現代に至る鎌倉の歴史を通覧する「通史展示」と、これまでまとめて公開する機会がなかった出土品をメインとする「考古展示」を行っています。この点についてはどう思いますか？(複数選択可)

1. これまでになかった展示が良い	33名
2. 各時代を網羅していて良い	25名
3. 出土品の観覧ができて良い	26名
4. 中世の歴史に特化した展示を行うべき	10名
5. 主要な社寺等を紹介するガイダンス的な展示を行うべき	10名
6. 歴史的人物に焦点を当てた展示をすべき	14名
7. わからない	6名
8. その他	10名



「その他」のご意見

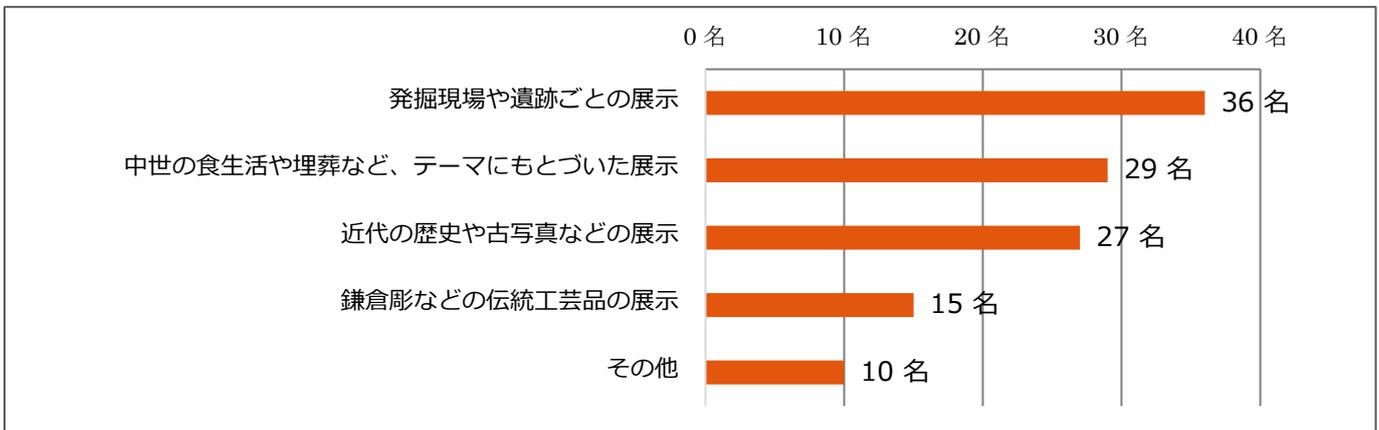
- 地震や津波など鎌倉で起こった災害について、地名と土地についての関連性など、海岸線の変化について。
- 知識不足の来館者にもっと考古学や歴史を楽しめる工夫があるのではないかと思います。体感考古学やワークショップ。
- 鎌倉国宝館などの棲み分けが一般市民には理解できない。
- 鎌倉時代のみならず、より充実すべき。
- 永福寺展のような企画を常にやったらよい。空間の使い方も無駄が多い。
- 併せてテーマ別特設展をすればよい。
- 対象地域を拡大。例えば大船地区。
- 自分でまだ見学したことが無いので何ともいえない。
- コンセプトは何？目玉がない。
- 相対的に展示表現が稚拙。

【鎌倉歴史文化交流館より】

展示コンセプトについては、これまでになかった展示という点が評価されていることがわかります。一方では「歴史的人物に焦点を当てた展示をすべき」などの回答もあり、展示の充実を行ってまいります。

【質問 6】(必須) 当館では、10月から12月にかけて企画展「甦る永福寺」を開催し、また最新の発掘調査の成果をご覧いただく速報展示なども行っていますが、今後当館でどのような展覧会を開催してほしいですか？(複数選択可)

1. 発掘現場や遺跡ごとの展示	35名
2. 中世の食生活や埋葬など、テーマにもとづいた展示	29名
3. 鎌倉彫などの伝統工芸品の展示	15名
4. 近代の歴史や古写真などの展示	26名
5. その他	10名



「その他」のご意見

- 源頼朝（鎌倉幕府）以前の鎌倉の様子など。
- 鎌倉の歴史に関係した速報展示(発掘調査の成果に限らず)。
- 歴史資料や考古学から得られた知見の分析結果の総合展示。
- 発掘品や展示品の素晴らしさをもっと伝えてほしい。
- 鎌倉の国宝展。
- 「世界遺産に選ばれるのに寄与するには」を考慮しながら展示の方向性を検討すべきではないのでしょうか。
- 前に行ったお坊さんのトークイベントの第2弾、第3弾とやって欲しい。
- いろいろあっていい。しかし、永福寺のVR体験は待たせる割には完成度が稚拙だ。
- ひっそりとしていて、何がしたいのかわからない。鎌倉で生まれ育った地元大好きの中老年しか興味を持たないのではないか。

【鎌倉歴史文化交流館より】

発掘現場や遺跡の展示がもっとも高く、中世の生活などのテーマ展示が続きました。出土品や発掘調査の成果などの展示を望む人が多くいることがわかります。近代を扱う展示についても多くの回答を得ており、今後の展示構成についての参考とさせていただきます。

【質問 6-1】「発掘現場や遺跡ごとの展示」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような展示でしょうか？

【発掘内容の展示について】

- これまでの発掘現場の写真と出土品に加えて、それらの意味するところを開設。
- 市のどこで、何が発掘されていてそれからどのようなことが考えられるのか。
- 発掘のプロセス、発掘品の再構成のプロセスなど。
- 市内各所で建物が新築される場合、事前に行われる発掘調査の現状など。
- その遺跡の時代背景と展示内容の説明。
- 例えば、十二所納骨堂発掘調査や遺跡から出土した仏像彫刻の展示を行っていただけたら幸いです。
- 現場の土壌や地形、気候、地名の由来などの紹介。
- 鎌倉時代より前の縄文時代などに関する展示が見たいです。
- 特定する場所はないが、学芸活動にての成果をタイムリーに速報展示してはどうか。
- (著名でない) 発掘情報の公開を進めて欲しい。

【展示方法等について】

- 写真やパネル展示だけでなく、DVD の上映や実物を手にとることができるような、発掘現場や遺跡を身近に感じられる展示。
- 発掘現場や遺跡が、歴史や歴史上の人物との関わり合いが分かるような展示と、それ以降の歴史にどのような影響を与えたかを明らかにするような展示を期待する。
- 遺跡の地はこういうモノであったと推察される等。
- 鎌倉幕府ができた当初にあった、大倉御所の頃の街並みを再現した展示はぜひとも見てみたいです。聞いた話によると、鎌倉駅や小町通りの周辺には、昔使っていた遺跡品が多く埋まっているとのことなので、丁寧に保管する観点から、鎌倉幕府当初の姿を再現することは重要だと感じております。
- 小町大路跡や大倉幕府跡など、ある場所にスポットを当てて地図や写真、出土品などで紹介。
- 洲崎古戦場など。
- 若宮大路などの発掘現場の実態を知らせ、ビル化などの抑制、歴史的風土の保護につながるように。
- 鎌倉時代、その後に焼失したり、廃寺になったものを再現する。
- ある時代で見た時の各遺跡の状況。ここはこんな建物があつた。ここはすでに寂れていた、建物が消失していたなど。
- 今回開催している「若宮大路周辺遺跡群」のような遺跡ごとの展示。

【その他】

- VR を用いた体験型展示。
- 青森の山内丸山遺跡や佐賀県の菜畑遺跡等と比較するバーチャル展示なども検討してください。
- 生活用品、農耕具とか。
- 装飾品など。
- 模型、写真など。
- 現地見学とセット。
- テーマが絞られて、内容が理解しやすい。
- 何が発掘されているのかわからない。

【質問 6-2】「中世の食生活や埋葬など、テーマにもとづいた展示」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような展示でしょうか？

【食生活について】

- 食事内容の展示。
- 当時は何を食していたのか、食材の紹介や試食。
- 時代とともに食生活の変遷を辿ってください。
- 食事のメニューや容器を見たいですね。
- 頼朝の食事、庶民の食事などを展示する。
- マネキンを用いて実際に食べている様子を示すと、理解しやすく興味も深まると思う。
- 食生活の再現や体験など。
- 時代ごとの変遷。武士、農民など階級ごとの変遷。食育に繋がるような展示が望ましい。
- 市内から発掘された食糧の遺物（獣骨や魚骨など）や、便所の遺構から出た遺物などからわかる中世人の食生活や健康状態を知りたい。
- 中世の人はあまり肉を食べなかったようですが、鎌倉幕府の周辺はかつて長屋や市場が栄えており、港でとれた魚もよく食されていたと聞きました。魚食教育の観点からも、当時人々に食べられていたものを展示することは興味深いと思います。

【生活について】

- 時代でどの様な生活をしていたかがわかるもの。
- 中世の人々の生活が分かるような展示を期待する。
- 装飾品など。
- 当時の一般庶民？のありのままの姿。生まれて死ぬまでを紹介。七五三はやったの？成人式は？など。
- その当時の住民の生活などを知ることができるような展示。

【展示方法について】

- どの地区でどんな身分の人がどんな生活をしていたのか、現在の生活と比較して展示して欲しい(材木座は商人が多く商店はこのあたりにあつた、など)。
- ドラマ仕立ての短いビデオを上映する。
- 動画による紹介。
- 必ずしも歴史に興味のない人に親しみやすい展示。
- 発掘内容と合わせて、どこで、何があつたかどう推定できるのかわかるとおもしろい。
- 写真や模型などで当時の様子を再現、分かりやすい解説。

- 出土品や文献、資料で紹介。

【質問 6-3】「鎌倉彫などの伝統工芸品の展示」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような展示でしょうか？

【鎌倉彫について】

- 鎌倉彫はよく使われておりますが、鎌倉市に住んでいる人はその起源をよく知るべきだと考えております。例えば、江戸時代などに作られた作品を展示するなど、昔の作品の良さを感じることもよいことだと思います。
- 鎌倉彫の作品から、歴史の年表から有名な作家の紹介など。
- 鎌倉彫の作品はお店に行けば見れるが、作られる工程は見たことがないので、動画で紹介してほしい。

【工芸品等について】

- 刀や馬具、甲冑の製法など。
- 寺社の協力により、実用品・美術品ともに来歴等を説明。
- 技の進化、道具との関係などが分かるような展示。
- その工芸品がたどった歴史や変遷、時代的流行などやエピソードなど。
- 誰もが有料で「体験」ができて、各賞を受賞した作品を鑑賞できる。新たな各賞の審査などを検討。華道などの「流派」の展示や、「古過ぎる作品」の展示はしない。

【質問 6-4】「近代の歴史や古写真などの展示」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような展示でしょうか？

【古写真について】

- 鎌倉は一時期、歴史から名を消していたので、その頃の様子を知りたい。また昭和の頃なら市民が所有する個人的な写真も残っていると思うので、既に展示の機会があったものでも再度展示されたら嬉しい。
- 戦時中の暮らしや戦後の発展など。
- 写真があると目を引くから。
- 大地震の記録。昭和時代の写真。
- 当時の鎌倉の風景写真。

【古写真と鎌倉の変遷】

- 古写真（街並み）、古地図と現在の写真、地図とで対比する。
- 関東大震災以前の社寺の様子、街並み等。
- 観光地として開発が進むなか、観光化される前の景観などを見てみたい。
- 近代の歴史や古写真などを現状と比較する展示は時の流れがわかりとても楽しいのではないかと思います。

【歴史資料について】

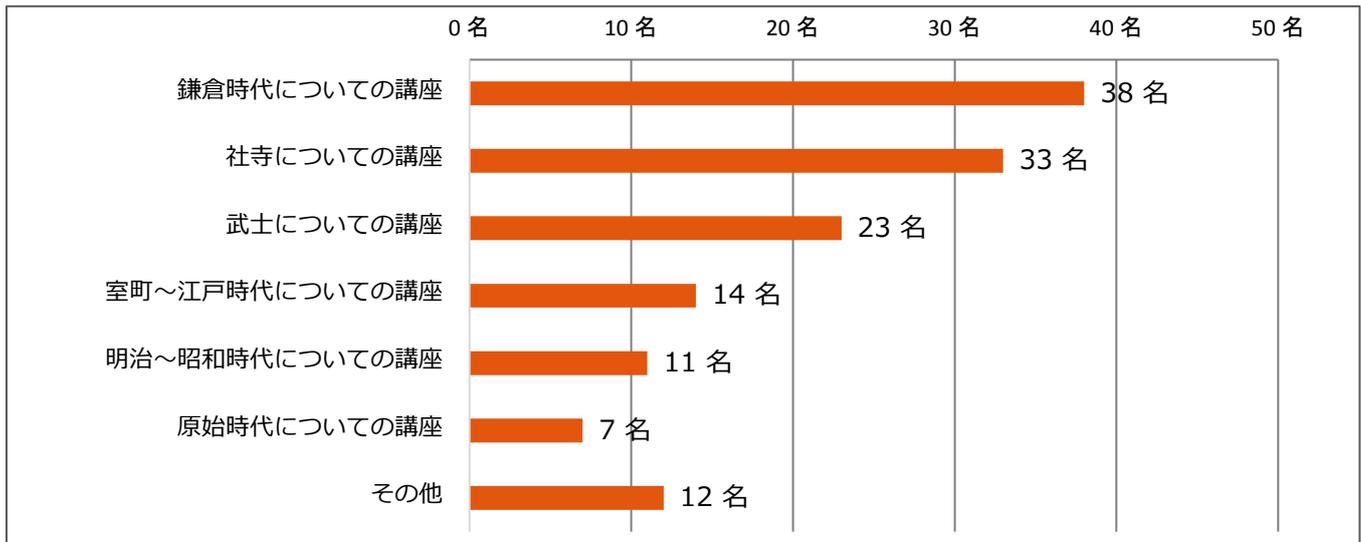
- 明治時代から昭和初期にかけての庶民の生活の写真や、流鏝馬の様子。
- 銀幕の映画スターの活躍とその裏側（松竹撮影所との関係性も含む）について。
- 小津安二郎氏の作品や時代背景、著書の紹介。

【展示に関して】

- 視点を変えた近代史。
- 大船の松竹映画撮影所とか、湘南モノレールとか、アニメや書籍の舞台となった風景とか。
- 円覚寺・建長寺・寿福寺・浄智寺など、施設ごとの歴史や収蔵品の展示をシリーズ化。
- 鎌倉の写真の展示は、民間の店舗ですでにやっている。グーグルマップの明治時代版、昭和初期版とか、CG と古写真を使いながら VR など街中を散策できるようなもの。
- 一つのタイトルを決めて、これに関しての資料を展示。年間6タイトルくらいを展示する。
- 発掘現場や遺跡と鎌倉に関する近代のものを対比させた展示。

【質問 7】(必須) これまで当館では、くずし字講座や古美術講座、考古学講座などの夜間講座を開催してきましたが、今後どのような講座を開催してほしいですか？(複数選択可)

1. 原始時代についての講座	7 名
2. 鎌倉時代についての講座	37 名
3. 室町～江戸時代についての講座	14 名
4. 明治～昭和時代についての講座	11 名
5. 社寺についての講座	33 名
6. 武士についての講座	23 名
7. その他	12 名



「その他」のご意見

【講座内容について】

- 茶道や和の楽器など、歴史と和に関する講座。
- 写経。
- 太平記や平家物語の講座。
- 各時代の鎌倉と関係する文芸との接点の講座など。例えば鎌倉と源氏物語に登場する事項など。
- 古代から現在までの鎌倉で生まれた技術。

【開催方法等について】

- 歴史ある鎌倉の時代ごとの移り変わりなど、行政が今後目的としている世界遺産登録に向けて、多数の見学者を呼べるようなもの。
- 「世界遺産に選ばれるのに寄与するには」を考慮しながら、展示の方向性を検討すべきではないのでしょうか。
- 特化した学者か研究者が関与すれば、シリーズ化が望ましい。
- 古美術講座・考古学講座は魅力的な講座と思うが、その存在自体を知らなかった(知っていれば、行っている)。もし受講者の少なさを課題として本設問に至っているのであれば、広報のほうが重要かもしれない。
- 地域住民のために平日昼間に連続講座があるといい。

【その他】

- どの時代でもどのテーマでも結構です。
- そのような講座をしてるとは知らなかった。

【鎌倉歴史文化交流館より】

鎌倉時代をテーマとする講座が人気で、社寺や武士も多くの回答を得ています。今後もさまざまな切り口で、鎌倉の歴史と文化の紹介に努めていきたいと考えています。

【質問 7-1】「原始時代についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

- 鎌倉の原始時代の姿に興味がある。
- 東京湾沿いは意外と縄文遺跡が多いような気がします。鎌倉も縄文遺跡がありますが、あまり詳しいことがわかりません。できればそのあたりを。
- どのくらい昔からどの位の人口がどのような生活をしていたか等。
- 鎌倉は当時地理的にどのような姿、様子だったか。
- 鎌倉の地が、これまでどのような場所であり、どのように変遷したかが分かる展示を期待する。
- 6-1にも記したが青森の山内丸山遺跡や佐賀県の菜畑遺跡等と比較するなど。
- 講座よりも、講師やアプローチ方法が重要だと思います。こんな面白い先生がいるから、頼んでみようか、という決め方でもいいのではありませんか？また、学芸員の独創性も発揮していただきたいものです。

【質問 7-2】「鎌倉時代についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

【鎌倉時代全体について】

- 鎌倉といえば、鎌倉時代を連想します。歴史背景などは詳しく知りませんが、市民なら地区や地形をだいたい知っているの、そこにどのような生活がありどのように現代の生活に繋がったのか、知りたいと思います。
- 鎌倉時代の歴史と文化などを、改めて知りたい。
- 鎌倉幕府とは何だったのか、日本史の中での位置づけ。
- 鎌倉の地が、これまでどのような場所であり、どのように変遷したかが分かる展示を期待する。
- 鎌倉の町について、例 和賀江島など。
- なぜ鎌倉幕府が鎌倉であったか？どのようにしたかったのか？今の時代との異差。埋蔵金などわくわくするもの。

【人物等について】

- 頼朝の鎌倉入り～幕府成立～幕府の滅亡に至る一連の流れ。
- 源三代、北条家一門など鎌倉幕府との関わりを聞いてみたい。
- 武家文化と金沢氏。
- 北条の覇権の経緯。源氏宗家の消滅。島津など源氏直系を名乗る家計の真偽。
- 鎌倉幕府の将軍三代の墓をめぐるながら、鎌倉時代初期の政治について解説する講座に興味があります。

【暮らしについて】

- 鎌倉幕府の時代分析や街の推移、武士の生活について。吾妻鑑の講義。鎌倉時代の御家人の勢力の系図。
- 城内でどこに誰の邸があってどのように毎日を生活していたかなど。
- 暮らしと文化。
- その時代の武士の食事。
- 鎌倉時代の風習や現在行われている祭りなどの催し物の始まりや背景。
- 鎌倉時代の訴訟や遊び、生活文化などについて。
- 鎌倉時代というと、禅宗のイメージが強い印象を与えていますが、実態は、鶴岡八幡宮寺を中心とした密教が政治に与えていた影響を見逃せないと考えています。以前、鎌倉国宝館で鎌倉と密教の展示を行ったことがありますが、現在の宗教空間からは、鎌倉時代を想像できないことが残念でなりません。
- 鎌倉時代の政治、文化等。

【その他】

- 腰越状とか勸進帳、日蓮上人のぼたもち寺、腹切りやぐら、など、物語がいっぱい。歴史の先生に話を聞くのもいいけど、浪曲師や能楽の人からお話を聞くのもおもしろいのでは？
- 古記録と出土資料をつきあわせてわかった知見を学べる講座。
- 吾妻鏡の面白いところを読む。

【質問 7-3】「室町～江戸時代についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

- 鎌倉の地が、これまでどのような場所であり、どのように変遷したかが分かる展示を期待する。
- 鎌倉が最も寂れた時期であるが、徳川幕府の具体的な支援貢献について。
- 鎌倉時代以降の鎌倉の栄枯盛衰など、後北条や豊臣秀吉、徳川家の鎌倉への寄与など。
- 室町時代以降は政治の舞台は、京都に移ってしまったのですが、上杉氏・長尾氏とのちに登場する北条氏との権力争いの歴史には興味があります。
- 歴代鎌倉公方の歴史。関東管領の歴史。
- 鎌倉の衰退とその保護者が何故、保護してきたのか。
- 当時の暮らしや法体制、娯楽や信仰などについて。

- 当時の鎌倉は、文献や資料でどのような姿か。
- 庶民文化の実物展示、当時の人の平均の色々を展示。
- 古記録と出土資料をつきあわせてわかった知見を学べる講座。

【質問 7-4】「明治～昭和時代についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

- 鎌倉の地が、これまでどのような場所であり、どのように変遷したかが分かる展示を期待する。
- 当時の暮らしぶりなど。
- この地区が東京や横浜の発展の中で、どのような関わり影響を受けてきたか。
- 江戸時代後期から別荘地時代の過渡期における人物や祭事について。
- 戦争、災害、環境など、現在の生活に直接繋がるようなできるだけ具体的なテーマが望ましいと思います。
- 横須賀線開通前後の状況について。
- 文士の活動、松竹撮影所や映画と鎌倉の関わり、など。

【質問 7-5】「社寺についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

【総論】

- そもそも仏様や神様について等。
- はじまりから、現在に至るまで。

【見所・特徴について】

- たくさんある寺社の特徴や見所。
- 重要文化財などを中心に、それぞれの寺社の見どころを教えて欲しい。植樹や花なども興味あります。
- 鎌倉には多くの社寺があるので、それぞれの歴史や相関などを教えてもらいたい。
- それぞれの社寺の特徴や、背景にある歴史を学べる講座。
- 宗派ごとの歴史や全国の有名寺社との関係。
- 市内にある寺社の宗派別の成り立ちや歴史。
- 時代ごとの社寺の説明。
- 宗派別の寺の地図等・どのようにして集まったかの理由も。
- 社寺の興亡を歴史を追って解説する講座。

【禅宗について】

- 鎌倉仏教の紹介と禅について。
- 座禅作法や各宗派の特徴、寺社の建物や仏像などの宝物について。
- 禅宗の影響力の系譜。

【神社】

- 祀っている神様について、神様達の関係性。

【トークについて】

- 前回のお坊さんのトークイベントの続きを、是非やって欲しい。
- テーマ別にある寺の変遷やエピソードなど、または日蓮などにまつわる紹介など。
- 仏像の種類と見分け方、なんて何回聞いても興味深いですね。お坊さんや神官のお話も聴いてみたいです。
- 市内にあるお寺の方々からお話を聞く。

【その他】

- 鎌倉の社寺の歴史。御朱印帳が流行っているので、各寺の御朱印や意味など知りたい。
- 山門法堂等の寄進の状況について。
- 検定試験的な「勉強」になる「講座」。

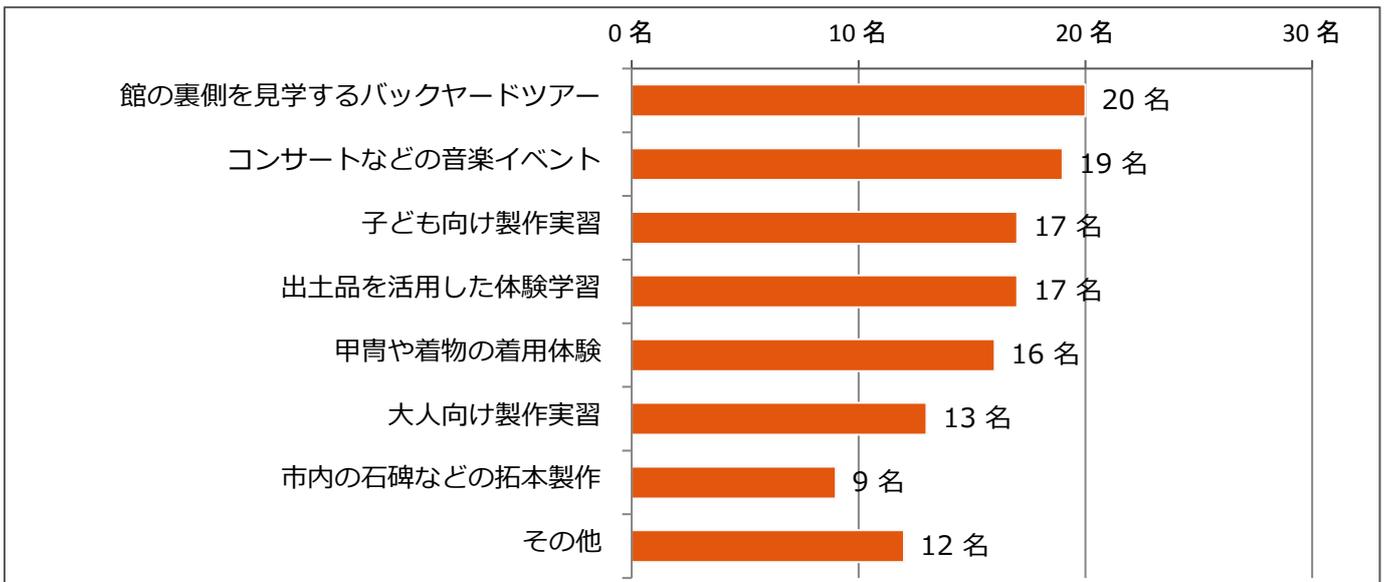
【質問 7-6】「武士についての講座」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような講座でしょうか？

- そもそも武士とは。いわゆる武士道に引っ張られていないリアルな武士の姿について。
- この頃映画やドラマで、武士の家計簿とか、武士の食事、などよくテーマになっています。
- 武士の生活と現代への変遷などを、過去と比較しながら深掘りする講座。
- 武士の暮らしぶりなど。

- 鎌倉武士の教養。
- 鎌倉武士が時代とともにどの様に推移したのか分かる講座。
- 武士の価値観、教養、死生観、より詳細な人物伝など。
- 女性武士の講座は開講希望です。江戸時代以前は、女性が所領を創造したり、戦場で戦うこともあったとのことですが、鎌倉時代にもそのような活躍があったのかは知りたいです。案外女性武士の話はあまり知られていないので、意外性の観点からも勧めます。
- 畠山重保や和田義盛など政権を取らなかった重要人物にスポットを当てて紹介。
- 「吾妻鏡」に出てくる武士の出で立ち（装束）が江戸時代にどう繋がったか等を表現してください。
- 鎌倉幕府と武士の関わりについて聞いてみたい。
- 幕府跡と京都との関係、武士社会とは何だったか。

【質問 8】 (必須) これまで当館では、ペーパー甲冑製作などの参加体験型プログラム（体験学習）やお坊さんとのトークセッションなどを開催していますが、今後どのようなプログラムを開催してほしいですか？（複数選択可）

1. 大人向け製作実習	12 名
2. 子ども向け製作実習	16 名
3. 甲冑や着物の着用体験	15 名
4. 出土品を活用した体験学習	16 名
5. 市内の石碑などの拓本製作	9 名
6. コンサートなどの音楽イベント	19 名
7. 館の裏側を見学するバックヤードツアー	20 名
8. その他	12 名



【その他】のご意見

- 歴史的イベントなら何でもよい。
- セミナー、イベントなど。
- 鎌倉に住んでいる者として、鎌倉の歴史や他の地域に与えた影響等、鎌倉の特質が分かる講習会を期待する。
- お坊さんトークセッションは良いと思いますが、やってるのを知らなかった。
- 遺跡発掘体験。
- 永福寺跡や発掘現場などのフィールドワーク。
- 体験型講座が本館主旨に沿っているとは思いたい。
- ジャズカフェやコンサートや能などのイベントで、場所に慣れ親しんでもらう。外を見ながら、お弁当を食べられたらうれしいですね。
- あまり増やさなくてよいのではないのでしょうか？

【質問 8-1】 「大人向け製作実習」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような体験型プログラムでしょうか？

- 鎌倉で出土した陶磁器の再現をする、いわゆる陶芸講座。

- 出土品の制作。土器など。
- 甲冑の作り方、できれば刀の鍛造体験など。
- 鎌倉彫など。
- 鎌倉彫り体験。三味線体験。習字体験。お茶の体験。
- しいて言えばという程度で、ノーアイデア。ただ、何をしてもすでにある施設のイベントの域を出ることはないのではないのでしょうか。さらに、住宅街という制約が、さらに状況を難しくさせている。

【質問 8-2】「子ども向け製作実習」を選ばれた方にお尋ねします。例えばどのような体験型プログラムでしょうか？

- 土器作成とか、鎌倉時代の料理教室とか。
- かわらけ（土器）から、鎌倉彫に至る歴史を体験出来るような製作実習を！
- 大人と同様程度のレベルのものなど。
- ミニチュアの建物（社寺等）の製作。
- 模擬発掘体験など。
- 例にあったようなもの。

【鎌倉歴史文化交流館より】

ワークショップ等については、ほぼ横並びの数値となり、多様なニーズに基づくプログラムの開催が望まれます。またバックヤードツアーがトップであることから、フォスター建築への関心の高さをうかがうことができます。

【質問 9】（必須）閑静な住宅街に立地するという条件をふまえたうえで、今後どのように館を活用していくのが望ましいと思いますか？

【活用・PR について】

- 部屋を貸し出していますね。いいお部屋だし、ぜひ使いたいと思います。市役所に来た人が足を延ばせるように、市役所で、よくお知らせくださいませ。お天気が良ければ、行こうかな、と思う人がいると思います。
- 他の歴史的施設と連動した展示。例えば、大仏を見学したあとに知識を深めるためにここに導いたり、逆にまずここに来てもらい次の目的地を決めてもらうような何か。
- 他の名所とも関連のある企画などをしていくのが良いと思う。
- 団体観光は日にちや時間帯をうまくずらすようにし、現在の景観を損ねないように配慮する。例えば、抽選で当たった少人数のみで屋敷の夜のバックヤードツアー、宿泊会などがあたら話題性はあると思う。
- 自動車、バイク等による来訪制限（禁止）。
- せっかくの良い庭があるので、彫刻展等。
- 講演会等、積極的に誘致した方が良い。来客によって静寂が破壊されるとは思えない。
- 市役所や鎌倉生涯学習センターのメインの通り道、また踏切から旧古我邸を通る道の角に人員を配置して案内と呼び込みを行う。
- 緑を増やす。
- ワークショップを定期的に行う。
- 静かにしないといけないところに作ったのが間違いですね。人を集めれないわけですから、維持費を安く来る人の支払う単価を高くしないといけないですね。
- 住宅街と言っても、歴史観などが、騒音を発生するわけでもなく、もっと積極的に幅広い客が集まるような企画をすべき。
- 騒がしいイベントは避けて地味なイベントが良いかと思います。
- 静かに行える写経など。
- 静かな佇まいの中で常設化。
- 専門性を高めたイベント運営。
- 今のように、騒がしくなく歴史や和のイベントをやって欲しい。
- 入館者数を制限するために予約制にするのが望ましい。

【利用者について】

- 地域の方のコミュニティスペースとして、メリットがあるようにする。
- 観光客相手というより、市民を中心に活用するようにした方がよいと思う。宣伝の仕方に注意する必要がある。
- 地域の人々が懇談、座談できる場所として提供したら良いと思います。災害が起こった時の避難場所としても活用できるようにしてください。
- 地域コミュニティーの場、公民館的に市民が広く活用できる場。

- 平日のみの開館しかできないならば、訪問者のターゲットをもう一度見直して、それにあった催しをすべき。ターゲットが広すぎて方針の立てようがないように思う。
- 日曜・祝日が閉館という大前提が崩されないのであれば、ウィークデーに自由が利く方々を対象にした活用を考えれば如何でしょうか。
- 近隣の方々が集まれる場所という位置づけも考えていってほしいと思います。
- 市外から来る観光客向けのガイダンス施設の役割は鎌倉文華館に任せ、このエリアはこれまでどおり住宅街メインとしてあまり大々的な活動はせず、市民の文化・交流をメインとした公民館的な施設として活用してほしい。
- 高齢者向けの催しもの。
- 鎌倉の特性を学べる教育の場が望ましい。
- 鎌倉市の学校が活用していくこと。
- 主として子どもたちの見学、教育に役立てる。
- 小学生等を対象とした鎌倉の歴史教育。

【開館日時について】

- 休日は開館時間を短くして開館。
- 平日および昼間時間帯に制限することを継続すべき。
- 周辺住民の同意が得られることを前提とするならば、日曜・祝日の開館も積極的に検討してほしいです。鎌倉は観光地として有名ですが、あまりよく知られていない場所もあるので、講座の開講や人々の生活に根差した展示を展開して、より質の向上に努めてほしい。
- この館の紹介をしても日曜・祝日が休みでは、興味があっても行く機会が減少。多くの方々が訪れるとは思えないので他の施設のように月曜休館とされては。

【周辺環境への配慮について】

- 周辺の生活環境に配慮することは、今後の鎌倉の Quality of Life 向上にとって必須の事項です。観光客に迎合することは止めて、純粹に、鎌倉の最新研究発信の場にしていただきたいと考えています。今日、発生している課題も歴史を顧みることによって、解決できることがあるのではと思っています。研究データベースの充実や、課題解決のシンクタンクの機能も持ち合わせたらいいのではと思った次第です。
- 近隣に対して節度ある運営。大きな音を出したり一度に大人数を動員する催しはそぐわない。カフェは欲しいが、静かなカフェ。
- 居住者に迷惑にならない行事進行・管理。
- 周辺住人の理解を得て、土日にも開館する。
- 近隣に負担のないようにと思います。
- 出来るだけ市民優先の運営をお願いします。
- 住民との連携。
- 「閑静な住宅地」は立地前からの現状だと思う。建築したうでは当館の今後の目的等を近隣に理解してもらうことが必須だと思う。
- 周辺に居住している方々の協力を得て、休日に訪れやすいような環境づくりが喫緊の課題ではないかと思っています。
- 鎌倉が誇る歴史文化交流館の意義を、近隣住民の皆さまに十分ご理解をいただく。今までも苦情があるのでしょうか。
- 地域以外に開かれた館にするためには日曜の開館は必要と思う。開かれた館にする必要がなければ、地域住民重視でよいと思う。
- 市民向けの展示講座を中心に行えば、閑静な住宅街で騒ぐようなことはないと思います。
- 交通の便が良くない場所であるから多くの人で人気が出ても閑静さは失われないとおもいます。
- 集客しすぎると、近隣の方の迷惑になりかねないのと思いますが、具体策が分かりません。
- 観覧者増加（騒音）と簡素な住宅街の静寂は相反する事象である。ある程度、住民に我慢をして頂く以外はないでしょう。
- 住宅街にあることのメリットがわからない。
- 修学旅行の学生に、短時間で簡潔に鎌倉を理解して貰う為に、ある程度の「犠牲」はやむを得ない。

【カフェについて】

- 中庭にカフェが欲しいです。例えば「ひそひそかふえ」という名前にして、「ここは谷戸で聞こえる風の音、鳥や虫の声を楽しむカフェです。おしゃべりはご遠慮ください。」という前提のカフェにすれば大丈夫なような気がします。
- 特色ある庭を愛でながら、ゆったりした時間が過ごせるような喫茶コーナーがあればと思う。

【その他】

- まだ行った事がないのでわかりません。
- 現状の運営で、特に問題がないと思います。
- 回答準備期間不足のため回答できません。

【質問10】(必須) その他、当館についてご意見やご提案がありましたらお願いします。

【運営について】

- とても良い所で、職員の皆さんも感じが良く、いつもお伺いしたあと気持ち良く帰れるのはありがたいです。お坊さんや、神職さんと呼んでのトークセッションを続けてやって欲しいです。
- 外観や全体の雰囲気はすばらしいので、鎌倉の名所に育てたらよいと思います。住宅街といっても鎌倉市内はどこも観光客が多く、ここだけを特別扱いする必要はないのでは。音を発生させなければ人混みなどの喧騒は鎌倉の宿命です。
- 地域の人々が懇談、座談できる場所として提供したら良いと思います。災害が起こった時の避難場所としても活用できるようにしてください。
- ご近所の方に無料で開放したり集まりに利用したりして、近隣を巻き込み仲間に、施設の活用を考えてみてください。
- 周辺に居住している方々の協力を得て、休日に訪れやすいような環境づくりが喫緊の課題ではないかと思います。
- 有意義な活動と、閑静な住宅街という相反する条件が難しいところですね。地元の方々とのつきあい方が、1番の問題だと思います。
- より鎌倉市民ファーストで事に対応する。
- 鎌倉市民の意識向上のために、使える場としての活用を期待する。
- 団体客が来た時のスムーズな対応を望みます。
- 前向き・進歩的・明るい行事等々を開催してください。
- 地元民の特に小学生、中学生にもっと伝えることは？社会科見学には無理なのでしょうか？
- 日曜日も開館した方が良いと思います。
- 土・日に開館しなければ意味がない。そのためには市が外部に委託して運営すべきではないか。
- 日祝休館ということは入館者が増えることを望んでいないと思われる。
- 平日の開館を減らして土日祝日に開館すべき。
- 休日の会館も必要です。
- 外側の敷地を有効活用していただければと思います。穴倉見学など。
- 庭でのビアガーデン(季節限定)。近隣のことばかり考えては、何もできない。共存でいくしかない。
- 常に Something New を求め、飽きのこない運営をお願いします。
- あまり当該施設の必要性が感じられないので、利用実績の検証を公表する必要がある。
- 市民向け見学会。
- 鎌倉に関する企画展をお願いしたい。
- 企画展「甦る永福寺」の図録の出来栄がとてもよく、好評ということを知りました。展示の記録という意味でも図録刊行は重要です。研究紀要の刊行も、鎌倉歴史文化交流館の発展にとっては必須と考えております。遺跡発掘調査報告書の閲覧スペースも設けて頂けたらありがたいです。
- 回数券や年間パスポートがあると便利。
- 趣味のよいグッズを販売してもよい。
- リピーターを獲得できるように、模様替えを定期的実施してほしい。
- 鎌倉文華館鶴岡ミュージアムとのすみ分け。
- 県立近代美術館との連携企画。
- 庭園を自由に散策できるようにする。
- 外部空間(特に山側)の利用を積極的に企画して欲しい。カフェとか収益施設を期待したい。
- 学芸員による説明ガイドの定期的な開催。
- 世界遺産登録への旗艦館となるような方向性があるのもよいのではないのでしょうか。
- 規模と客の数に対して職員が多すぎる。
- 昨日伺いましたが、入ってすぐの受付に3人も係の人が座っていたので、びっくりした。受付に3人とは多すぎではないのでしょうか？仕事がなく、暇そうに見えましたが・・・。
- 億単位の市税が投入された本館の公開が、広報がまくらで事前に通知することが可能であったにも関わらず、広報がまくらに掲載されないまま実施され、一般鎌倉市民はテレビなどのマスメディアを通じてのみ、事後にそれを知ることとなってしまいました。これに対し鎌倉市の市長・職員・市議や私も含めた市民などが無自覚あるいは無反省であることにに対し覚醒・猛省を促したい。
- 何回か伺いましたが、何となく中途半端な気がします。
- よくわかりませんが、そもそも歴史文化交流館の成り立ちに邪念が入ったのではないかと想像してしまいます。
- どうも今一という評判です。私は前を通っただけで、未だ中に入っていませんが。伝わってくるものが無い。折角やっているのだから、もっと、アピールするような施設にして欲しい。
- 展示内容や空間利用実態を考えると、残念としか言いようがない。空間は贅沢だが、内容は田舎町の公民館の一応置いておこう程度の展示のようだ。
- 頑張ってください。
- 潰さないために、実績からの解析や意見収集を定期的に行ってください。
- そもそも必要かを議論する必要がある。世界遺産の拠点だったと思うが、大きな構想のなかで位置付ける必要あり。

【PR等について】

- 「鎌倉歴史文化交流館」というものの周知。

- まだ行った事がないので広く広報をがんばってほしいです。
- 認知度を上げて欲しい。
- 自分が知らないのが悪いというもあるが、今回のアンケートで存在を初めて知った。市民が知らないものを、観光客や市外の人に認知させるのはかなり難しいのではないか。
- 当館の存在をできるだけ多く市民に知らすべきだと思う。
- 知らなかったので、もっと広告等出せば良いと思う。

【設備等について】

- 身体障害者（要介護）の観覧時、自家用車等の駐車を認めてください。
- 駅や館へ行く途中の道路曲がり角など、に案内板・案内標識を設置する。
- 閑静な住宅街にある一方、交通の便が少ないので、バス停の確保や増便も検討してほしいです。
- 修学旅行の生徒も大きなターゲットとし、安価に昼食がとれるようなとれるようなスペース、売店の確保。
- 改築などの際は建物の良さを失わないようにお願いします。
- 歴史に特化した子ども図書室があるとよいのでは。

【その他】

- 一度も足を運んだことが無く前提知識がほぼ無い中で（事前調べの時間が取れない為）、今回のアンケートに回答するのは難しかったです。すみません。
- このアンケートで存在を知りましたので、今の段階で意見や提案はできません。時間を見つけて行ってみます。
- 行ってみたい。
- 行ったことがないのでわからない。
- 鎌倉歴史文化交流館を訪問してから意見や提案したいので、当館にそれなりの仕組みをお願いします（訪問帳等）。
- まだ行ったことがないので、一度足を運んでみたいと思います。
- すでに述べました。
- 行った事がないので、一度行ってみたいから意見を言いたいと思います。

【鎌倉歴史文化交流館より】

「鎌倉歴史文化交流館について」たくさんのご意見をいただき、ありがとうございました。開館してまだ1年に満たない博物館施設ですが、日曜・祝日の開館に向けた議論や、施設や敷地の有効活用、展示の充実、広報活動の拡充など、さまざまな課題を挙げていただきました。今回の調査結果を今後の館の運営に活かしながら、市民の皆さんや鎌倉を訪れる方々に親しまれ有効に活用していただける施設となるよう、努めてまいります。

鎌倉市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒248-8686 鎌倉市御成町 18 番 10 号

TEL 0467 (23) 3000 内線 2506

FAX 0467 (23) 6505

e-mail : emoni2505@city.kamakura.kanagawa.jp